

授 業 科目名	【 G 】	教職論	区 分		開講年次	【 G 】 1	単位数	【 G 】 2
	【 H 】	教職論				【 H 】 1		【 H 】 2
科目区分	教育の基礎的理解に関する科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独	【 G 】 教員の免許状取得のための必修科目						
		【 H 】 教員の免許状取得のための必修科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)						
サブ タイトル	教員になるか、教師になれるか					担当者	後藤 雅彦	
授業概要	【概要】	【実務(中学校教諭)経験を活かした授業】 中学校における教育経験をもとに、学校現場で求められる基礎的な実践的指導力の育成を図る。 概要】 将来「先生になりたい」「先生をめざしたい」という志望理由は、自らの教職観や教師像を創っていく上で、重要な起点になる。本授業はこの起点を大切にし、ここから深く掘り下げ進んでいく。一方的な講義形式を採らず、演習やプレゼンを織り交ぜ、自他と向き合うことをねらう。その際、現場を想定した場面を設定実演し、常に「教員になるか、教師になれるか」、つまり教員と教師の違いを実感しながら、再考していく。そして、そのことを互いに表明し、最後は、自らふさわしい力の獲得に乗り出していくことをめざす。 職種が教育公務員に規定する事情を理解し、その基礎知識も身に付けていく。						
	【到達目標】	○「先生になりたい」「先生になってみたい」動機の曖昧さや一過性に気付き、自らの教職観と正対することができる。 ○「教員になるか、教師になれるか」教員と教師の違いを絶えず再考し、自らの教職にかかる見方考え方を他者との交流の中で発表し、職種の意義を、深く受け止めることができる。 ○教育公務員としての役割、職務内容について、法的に担保されている意味やその使命責任について理解することができる。 ○自らの感性やこれまでの経験との「差」を自覚し、教職観、教師像の再構築に向けて踏み出すことができる。						
履修条件	「教育原理」を履修済み、もしくは本年度に履修予定の者。							
アクティブ ラーニングの 方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【○】	ロールプレイ
	【○】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①		－ (当てはまらない)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②		－ (当てはまらない)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③		◎ (よく当てはまる)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)④		－ (当てはまらない)					
他科目との 関連性	教育原理							
教科書	特に指定しない。授業の中で必要に応じ参考文献等を紹介する。							
参考書	佐久間亜紀・佐伯胖『アクティベート教育学② 現代の教師論』ミネルヴァ書房 家本芳郎『子どもと生きる・教師の一日』高文研 後藤雅彦『学校現場にいたから書けた教職論 教職を選ぶ、教職を歩むということー「ブラック」で見失わない、教職という名の人生案内ー』銀河書籍							
評価方法	授業や演習への参加態度(30%)、課題(プレゼン含む)への取組内容(30%)、プレゼン資料・小論文提出(40%)を総合して評価する。							
フィードバック 方法	毎時間の「復習シート」、演習、プレゼンへのコメント							
評価基準	授業内容について、よく理解しており、応用力もある者には、その程度に応じて「S」または「A」とする。さらに授業内容の理解の程度に応じて、概ね理解しているを「B」、最低限の基礎力を備えているを「C」とし、以上「S」から「C」までを「合格」とする。 授業内容について、基礎力が不足しているを「D」、基礎力が著しく不足しているを「E」とし、「D」「E」を「不合格」とする。 なお、欠席超過や試験欠席等は「F」とし、「評価不能」とする。							

授 業 科目名	【 G 】	教職論	区 分	開講年次	【 G 】 1	単位数	【 G 】 2
	【 H 】	教職論			【 H 】 1		【 H 】 2
授業回数	授業内容						
1	オリエンテーションー授業の進め方、この授業のねらいを知るー						
	予 習： 90分を目途に、「先生になりたい」理由を振り返る。			復 習： 90分を目途に、「先生になりたい」理由を再考する。			
2	「先生をめざす」ーきっかけと私のこれから 前半グループー						
	予 習： 90分を目途に、プレゼン準備をする。			復 習： 90分を目途に、他との共通性・特異性を考察する。			
3	「先生をめざす」ーきっかけと私のこれから 後半グループー						
	予 習： 90分を目途に、プレゼン準備をする。			復 習： 90分を目途に、他との共通性・特異性を考察する。			
4	「先生をめざす」ー「教員」と「教師」の違いとは何かー						
	予 習： 90分を目途に、どんな「先生をめざす」のか整理する。			復 習： 90分を目途に、改めて、どんな「先生をめざす」のか再考する。			
5	学校のしくみを知るー制度や組織の根拠法を学ぶー						
	予 習： 90分を目途に、学校制度の根拠法について調べる。			復 習： 90分を目途に、学校制度の根拠法の意義についてまとめる。			
6	学級担任を知るー「チーム学校」の意図を知るー						
	予 習： 90分を目途に、初任教員が陥る事態を考える。			復 習： 90分を目途に、学級担任に求められる条件を再考する。			
7	学級担任を知るー「教師の一日」その仕事と役割を知るー						
	予 習： 90分を目途に、「教師の一日」とその必要な力について考える。			復 習： 90分を目途に、学級担任に求められる条件を再考する。			
8	学級担任を真似るー「教師の一日」から一場面(そうじ)を演じる 前半グループー						
	予 習： 90分を目途に、教師の指導力とは何かを考える。			復 習： 90分を目途に、教師の指導力を問い直す。			
9	学級担任を真似るー「教師の一日」から一場面(そうじ)を演じる 後半グループー						
	予 習： 90分を目途に、教師の指導力とは何かを考える。			復 習： 90分を目途に、教師の指導力を問い直す。			
10	学級担任を真似るー「教師の一日」から一場面(いじめ)を演じる 前半グループー						
	予 習： 90分を目途に、教師の指導力とは何かを考える。			復 習： 90分を目途に、教師の指導力を問い直す。			
11	学級担任を真似るー「教師の一日」から一場面(いじめ)を演じる 後半グループー						
	予 習： 90分を目途に、教師の指導力とは何かを考える。			復 習： 90分を目途に、教師の指導力を問い直す。			
12	教育公務員としての教師ー事例を通して、服務勤務を知るー						
	予 習： 90分を目途に、気になる教員の不祥事を調べる。			復 習： 90分を目途に、教育公務員として生きる意味を考える。			
13	再び「先生をめざす」ー私が考える「教員になるか、教師になれるか」とは何か プレゼン準備ー						
	予 習： 90分を目途に、プレゼン準備をする。			復 習： 90分を目途に、プレゼン準備をする。			
14	再び「先生をめざす」ー私が考える「教員になるか、教師になれるか」 前半グループー						
	予 習： 90分を目途に、プレゼン準備をする。			復 習： 90分を目途に、「教員になるか、教師になれるか」小論文を練る。			
15	再び「先生をめざす」ー私が考える「教員になるか、教師になれるか」 後半グループー						
	予 習： 90分を目途に、プレゼン準備をする。			復 習： 90分を目途に、「教員になるか、教師になれるか」小論文を練る。			
その他	全体履修人数に応じ、実演(ロールプレイ等)の時間を確保したいため、必要に応じ多少の内容修正をする場合がある。また、常にポートフォリオ形式で授業資料等を分類整理する。						